

第二期阪神北県民局地域創生戦略

I 目指す姿

阪神北地域は、かつての首都圏「畿内」西端の「摂津国」に属し、歴史の表舞台に数多く登場してきた。明治時代の鉄道網の開発とともに、快適な住環境を備えた郊外住宅地として発展し、近代的な芸術文化や生活様式を柔軟に取り入れた独特のライフスタイル「阪神間モダニズム」を築き、特色ある歴史・文化を育んできた。

また、交通網が充実した多くのニュータウンが開発される一方で、森林面積が約6割を占め、その約9割が天然林であり、今なお歴史・文化や生物多様性などを保つ里山が数多く残されている。

しかし、人口の減少や少子高齢化が急速に進むことにより、オールドニュータウン問題の顕在化や地域の活力低下等が懸念されるなど、成長社会から成熟社会へ移行する中で、この地域の新たな発展が求められている。

このため、利便性が高く、魅力ある地域資源をつなぐ充実した鉄道網・道路網などが整った快適な住環境や「日本一の里山」をはじめとする豊かな自然、さらには消費地に近接する都市・都市近郊農業の優位性を生かし、「阪神間モダニズム」といわれる地域独自の市民文化などの中で実践される自然・歴史・文化・芸術・スポーツなどの多彩な活動を楽しむ生活全体を「アート・ライフ」と名付け、自分にあった生活を創造・実現できる地域づくりに取り組み、若者の域外への転出を食い止め、転入を促し、「アートな暮らしが賑わう活力あるまち」を目指す。

【目標】

取組方向	K P I	目標
アートなまちづくり	芸術文化に接する機会 (住んでいる地域は芸術文化に接する機会があると思う人の割合)	60%以上
	自然・歴史・芸術・文化・スポーツで賑わうまちづくり(観光入込客数)	2,100万人
	地域資源の価値(観光消費額(名目))	2,400億円
里山の魅力	対外的に誇れる地域資源の存在 (住んでいる地域に自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合)	60%以上
	農産物等生産・流通(農業産出額(推計))の向上	78億円
暮らしやすさ	阪神北地域に住み続けたい人(住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合)	80%以上
	移動の利便性が高い地域(住んでいる地域の公共交通機関は便利だと思う人の割合)	70.0%以上
	転入者数(日本人住民・国外含む)	27,000人
	ものづくり技術力(製造業付加価値額)の向上	4,400億円

II 取組の方向性

- 1 歴史・文化や景観を生かした街並みを整備するとともに、清和源氏発祥の地などの歴史文化や阪神間モダニズム文化、地域の伝統文化などの多彩な魅力を体感し、自分に合ったライフスタイルを発見・実現できる地域づくりに取り組む。

- 2 都市・都市近郊農業の魅力アップや地域住民、団体、事業者等が一体となって、重要な地域資源である北摂里山(先進的里山・まち山を含む)の持続的な保全、新たな利活用等を推進することにより、地域のブランド力向上に取り組む。
- 3 住環境の良さを内外にアピールするとともに、認知症の人などを支え合うまちづくりや、高齢化が進む農村と都市住民の交流促進、地域を支える産業の振興や雇用の創出を支援することなどにより、誰もが暮らしやすさを実感できる地域づくりに取り組む。

Ⅲ 具体的な取組（主なもの）

1 歴史・文化・芸術が息づく「まち」の創出

（１）伝統文化と阪神間モダニズムが息づくまちづくり

自分に合ったライフスタイルの発見・実現を支援するため、阪神間特有の文化を生かした地域づくりの基本構想を策定するほか、地域内に存在する有形・無形文化財等をVR技術によりWeb上で紹介するバーチャル博物館を構築・発信する。

- ・阪神間モダニズム再発見プロジェクト基本構想の策定・推進
- ・阪神アートVRミュージアムの構築・発信 等

（２）自然・歴史・文化を生かしたまちづくり

来訪者や地域住民がスポーツサイクルやまち歩きを楽しむまちづくりを目指し、地域を代表する自然・歴史・文化等の地域資源を生かしたスポーツサイクルを楽しむ環境や街並み整備等に取り組む。

- ・北摂里山サイクルツーリズムの推進
- ・武庫川（宝来橋～宝塚大橋）周辺散策空間の整備
- ・多田神社周辺のまち並み整備
- ・城郭都市文化（伊丹城跡、三田城下町、宝塚小浜地区）の発信

（３）地域の魅力を生かした交流人口の拡大

交流人口の拡大を図るため、多彩で魅力的な地域資源のPRや外国人観光客の誘客促進に向けたツーリズム施策を展開する。

- ・ひょうご北摂魅力情報の発信
- ・ひょうご北摂・インバウンド方策の推進
- ・県立有馬富士公園「新宮 晋 風のミュージアム」の魅力発信 等

2 地域のブランド力が高まる「まち」の創出

（１）阪神アグリパーク構想の推進

都市・都市近郊農業の振興を図るため、阪神地域の特色を活かした多彩な農畜林産物や「食」に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークと見立てて策定した“阪神アグリパーク構想”を推進する。

- ・阪神アグリパーク構想の推進 等

(2) 北摂里山の魅力向上の推進

伝統的里山、先進的里山、天然記念物の保全・管理や環境学習の支援などを担っている地域団体等とも連携しながら、北摂里山(先進的里山・まち山を含む)の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげるため、北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)構想を推進する。

- ・北摂里山魅力づくり応援事業
- ・里山資源を活用した環境学習の実施
- ・バーチャル博物館の運営 等

3 住み続けたい「まち」の創出

(1) 「ひょうご北摂ライフ」の推進

移住・定住の促進を図るため、良好な住環境や地域の魅力を体験する機会を提供するなど、阪神北地域の暮らしやすさのPRに取り組む。

- ・「ひょうご北摂ライフ」魅力発信による移住・定住の促進 等

(2) 認知症の人や高齢者などにやさしいまちづくり

誰もが安心して生活できる地域づくりを目指し、認知症の人などをみんなで支え合う気運の醸成や障害者の自立と社会参加を支援する。

- ・認知症の人をサポートする取組の推進
- ・フレイル予防の推進
- ・“きらっと☆オンリーワン”製品の販売促進 等

(3) アグリライフ・シェアリング構想の展開

シェアリング・エコノミーの手法を活用し、楽しむ「農」の気運醸成を図るため、農業を体験・応援したい都市住民と高齢化が進む農業従事者の協働による地域づくりに取り組む。

- ・アグリライフ・シェアリング構想の展開

(4) 阪神北地域の経済活性化

豊かさと賑わいを創出する地域経済の活性化を目指し、地域産業の高度化や人材確保、起業したい人などを支援する。

- ・起業・創業の支援
- ・企業立地の支援
- ・管内企業の人材確保支援 等

(5) 安全・安心な暮らしの実現

自然災害などの脅威から暮らしを守るため、安全で安心して生活できる地域づくりに取り組む。

- ・震災の経験・教訓の継承
- ・総合治水対策の推進 等